

絵手紙

アイデアのとびら フュースティバル

2018
4.25(水) - 7.9(月)

栄村国際絵手紙タイムカプセル館
開館時間 10時～17時
休館日 毎週火曜日(祝日は営業)

さあ！出かけましょう、風景スケッチに

梅坪仁実とスケッチ梅の実会(埼玉県)

「スケッチも学んでみたい、かいてみたい」
教室は違って気持ちと同じ仲間たち。
絵手紙精神心に刻み、描けば残るよ心跡！
知らない場所に出逢う旅。
今日も行きましょ、遠足気分。



絵手紙で繋がった仲間たち

大月昭和・ユキ(千葉県)

「絵手紙を通して人と繋がり、
人生を豊かに」が私たちの教室の
モットーです。
「ヘタでも一生懸命」かいて、
受け取った人が喜んでくれ
た絵手紙が、最高の絵手紙と信じて
楽しくかいています。



仲良し14人の仲間たち

岡田教室・金曜クラス
(東京都 他)

ぶっつけ本番！
絵手紙の醍醐味に魅せられて、
仲間との交流を楽しんでいます。



一期一会

岡本サヨ子(埼玉県)

仲間との集まりや、会場でたくさんの人たちとワイワイ楽しくおしゃべりしている場を思い浮かべながら、作品を消しゴム印で表現してみました。



名古屋城と土人形に魅せられて

岡母都子と絵手紙仲間(愛知県)

名古屋に住んで80年、絵手紙に出逢って30年の節目に、名古屋城の学芸員さんからのお話で、城内に展示されている江戸時代からの土人形をかかせてもらうことに。



「消しゴムことば印」のがくさんワールド

小野寺がく(北海道)

がくさん独特の「ことば印」の世界です。押されたことば印から、書かれた文章だけではない「琴線」に触れる世界に誘う！展示したあとは、それぞれの方に宛ててポストインも。



土の子さんとともに

北川長一郎(大阪府)

土の子とは、障がいを持つ人の自立を目指す施設「土の子工房」で作られている土器のことです。子どもの絵にも通じる純真な土器に魅了されて、長くその作品をモチーフに絵手紙をかき続けてきました。今回は、最近作を中心に展示させていただきます。土の子作品の魅力の一端を感じていただければ幸いです。



みんなでポストイン！

吉川みかと常総絵手紙の会(茨城県)

絵手紙は気持ちを伝えるもの…だったら、ハガキが基本だとしても、形にとらわれなくてもいいんじゃない？ということで、普通のハガキ以外の物にかいてみました。投函するときは、ちょっとドキドキ。ポストを開けるときにはワクワク♪(すべて、ポストインできるものを展示)



人生で大切なことはすべて「絵手紙」から学んだ

島田鉄也(大崎ウエストギャラリー)

新しいことにチャレンジするのに年齢は関係ない。絵手紙をかいている多くの先輩方から学びました。昨年、これからの人生設計を真剣に考え小説家を目指す学校に入りました。絵手紙を通して出会った貴重な体験を小説に書いて、多くの人に伝えたい。目指すは芥川賞です。



紙版画の絵手紙

徳勝弘江(東京都)

紙で凹凸を作り、乾拓でとるという方法で簡単に拓を楽しめます。そして、ことばを添えて絵手紙に。モチーフは、瓦當や画像磚のほか、円空仏にも挑戦しました。



サバイ サバイ(元気な)バンコクだより

のとやらえこ(北海道)

体力気力の衰え著しい昨今、タイで20日間余りを私は「生き生き」と過ごせるのか、70歳を目前に試す旅でした。タイの人々の優しさが随所に散らばっていて、言葉も話せない私を包んでくれました。在住8年の娘の協力もあり、毎日楽しく出歩き、事故もなくお腹も壊さず疲れもせず、無事に帰国できました。



ときめき♡アイデア絵手紙

原まり(東京都)

いろいろな絵手紙の技法・方法にチャレンジ！あれも、これもと欲張っています。新しいことに挑戦するってワクワク・ドキドキ。この気持ちをいつまでも持ち続けたいと思います。



春夏秋冬・タペストリー

廣野公彦(株式会社 墨運堂)

春・にじみで花を表現
夏・わんぱうで宇宙を表現
秋・拓本と白抜きでの表現
冬・墨流しとわんぱうでの表現



福よ来い 七福神と1/2百福図

堀池雅夫(墨工房 紀州松煙)

誰もが大好きな「福」。
七福神様といっしょに、届けます。



○一筆がきで線力アップ・バランスアップ

○今年の漢字 あの年この年

峯 譽(大阪府)

速くはかけない一筆がき。どこを省略・誇張するか。線力、バランス力、自分が感じたままに表現。シンプルに仕上がればよしとする。「今年の漢字」が発表されるようになって23回目。世相を表す漢字を、甲骨文字・古文ほか、拓本で表現してみた。



一閑張りとその応用編

みやちゃんの絵手紙教室
(大阪府)

一閑張りは、古くから日本に存在するザル(竹)・和紙・柿渋などを使うので、すぐにその楽しさになじむことができます。今回は、ペットボトル、ペン皿、ミニティッシュケース、ブローチ、ボール箱など色々な形にしてみました。



絵手紙で広がる自分世界

田口孝夫（東京都）

何事にも消極的、人付き合いも苦手。そんな自分が絵手紙のおかげで、たくさんのステキな出会いをいただき、新しい自分世界を広げることができました。ただ楽しくて毎日夢中でかき続けてきただけなのに…「アイデアのとびら」に掲載していただきました。



彩玉ボードを楽しむ

本田和郷（東京都）

彩玉ボードはビルの壁材を美術工芸用にと開発された、ソフトセラミック製の板です。1枚のボードに彫った画は、彩色に変化をもたせるだけで何通りもの楽しみ方ができるので、絵手紙にもおすすめの素材です。



これから これから

山根とみ（東京都）

絵手紙に出会い、その出会いからご縁をいただき、今があります。小池邦夫先生の「行こうか行くまいかと迷うとき、私は行く。飛び込んで振り返らないぞ」このことばに後押しされます。これからも、絵手紙の行く道を残していきたい。



縁あって

兼岩幸恵と風草の会（東京都）

筆墨の世界は奥が深く、容易なものではありません。でも時として、小さな手応えを感じ、嬉しいと思う瞬間があります。皆と一緒にできる学びの時間から生まれた、それぞれの自己表現です。いつか、ひとりひとりの筆に小さな花が咲くことを願って、このご縁を大切に育みたいと思います。



拓本から学ぶ絵手紙の心

坂田満興（佐賀県）

近代日本書道の基礎を築いたと言われ、明治三筆の1人と言われる中林竹梧の石碑を訪れて拓本を採りました。拓本を採ることはその書家の命(精神)を受け継ぐに等しい作業だと思います。古人の様々な作品を通して、絵手紙における集中力を養えるといいですね。



私の好きな風景

菅 千代子（神奈川県）

私の好きな風景は、感動したり、印象に残った場所や旅の思い出のひとつです。素敵な場所に出会うと無性にかきたくなり、夢中になってかいた場所は、じっと見つめたせいか、しっかり脳に刻まれます。後でその場所を思い出すとき、目を閉じれば光景が自然に浮かんできます。



愛してやまない墨の色

清野章子（埼玉県）

墨と語らいながら、ゆっくりと香りを育む幸せなひとときです。今日の墨色は?そんな思いで墨を磨る日々です。



花と樹とほとけさま

浅田美知子（神奈川県）

日本中が悲嘆にくれた2011年大震災。沈んだ心のまま、ふと外に出たら寒緋桜の花々が知らぬ間に咲き誇っていました。こんなときでもこんなに美しく咲くのかと、その姿に感動し筆を取りに帰り夢中でスケッチしました。言葉なくして人の心を慰めてくれる花々をかくようになったのはこのときからでした。



大きな絵手紙・似顔絵も真心こめて描いて贈って癒しをあなたへ

阿部孝喜（福島県）

暗いニュースが多い中、自分の気持ちを言葉にして届ける絵手紙に楽しさを感じる。大きな絵手紙はたくさん言葉がかけられるので、色々な人たちに夢と希望を与えることができる。顔は看板、皺は人生の足跡。笑って過ごせば皺は消え、若さ蘇り、笑顔の花が咲くだろう。



切り絵の作品

阿部 栄（福島県）

定年退職後に興味を持った切り絵。たまたま新聞に載っていた切り絵がきっかけで、その美しさに目が留まった。道具を初めて揃え、いろいろな形を切っているうち、楽しさに没頭。風景、人物、動物など切っていると楽しい。時の過ぎるのを忘れるほど没頭している。



こより絵手紙

植木啓子（東京都）

長く絵手紙に携わる中で考えついた「こより絵」は、私のライフワークとなりました。1本ずつこよることでの手の温もりが加わり、味のあるこより絵に仕上がります。ひとこと添えれば、こより絵手紙の発信です。



柿渋色に魅せられて

村井祥子と仲間たち（愛知県）

柿渋のもつ素朴な色合いが、懐かしい人に出会ったような暖かさで包んでくれます。先人たちが生活の知恵として残してくれた、一閑張りの空間で遊んでみました。甦った作品たちと会っていただければ嬉しく思います。



嬉しい 嬉しい 面白いの分からあい

脇 妙子（東京都）

身近なものから浮かぶヒラメキを形にする喜びは至福の時間です。かいたり、切ったり、貼ったりと、アイデアを織り込んだ絵手紙に、教室中が笑顔に包まれます。「嬉しい」から広がっていく人との繋がりを大切にしたいと思います。



折々に無我夢中

森千景と木の花会の仲間たち（千葉県）

仲間とともに無我夢中で交流してきた絵手紙。「もっと相手に喜んでもらいたい」という思いが膨らみ、12ヶ月の行事をテーマにしたものや、ペーパークラフトの要素をプラスした「森千景流アイデア絵手紙」が生まれました。



昭和の思い出

青木正巴と名古屋男の絵手紙教室（静岡県・愛知県）

名古屋男の絵手紙教室では2019年に大型の展示会を計画。花、野菜、果物のモチーフよりも、思い出がたっぷりある、＜昭和＞をテーマに、北名古屋市の民俗資料館でスケッチ会を始めました。今回はほんの一部のご紹介ですが、来年、名古屋市内で展示予定です。ぜひご来場ください。



あなたのアイデア絵手紙募集します



ふるってご応募ください！

会期に合わせ、一般の方からもアイデア絵手紙を公募いたします。（昨年と同様の募集をしたところ、多くのアイデア作品が寄せられました）応募絵手紙は、全点もれなく「絵手紙アイデアのとびらフェスティバル」会場で展示されます！明るく楽しい展示会にするため、皆さまのご協力をお願いします。

応募対象 ● どなたでも、お一人様何点でも可

募集期間 ● 2018年4月13日(金)必着

応募方法 ● アイデア絵手紙を郵送または宅配便でお送りください
※絵手紙は返却いたしません
※立体物も受け入れ可能です

《ご応募＆お問合せ先》
栄村国際絵手紙タイムカプセル館
「絵手紙アイデアのとびらフェスティバル」係
〒389-2702 長野県下水内郡栄村大字北信2503
Tel.0269-87-1920 Fax.0120-5562-03



このパンフレットをご持参いただくと、入館料（共通券）800円のところが500円になります

美術館のごあんない&アクセス

開館時間/午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前)
休 館 日/毎週火曜日(ただし祝日は営業)、冬期休業
入 館 料/タイムカプセル館(山路智恵絵手紙美術館)
栄村 白い森の美術館
2館共通券 一般 800円 小中高生 400円
※団体割引(10名以上200円引)
交 通/最寄駅・JR飯山線「森宮野原」
長野県下水内郡栄村北信2503 Tel.0269-87-1920